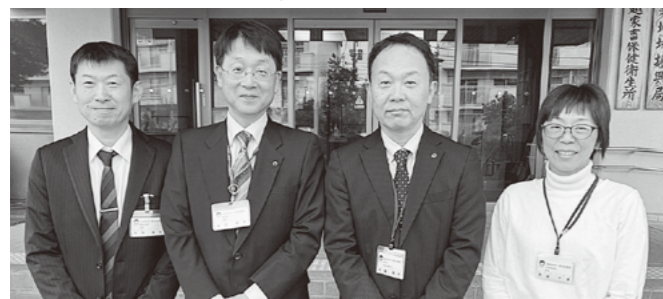


令和7年度 活動体制紹介

所長・課長



農業企画課長 高橋義和 / 普及課長 (東農林課長兼務) 滝田勝彦 /
所長 安藤義昭 / 生産振興課長 渡邊千恵

普及課 (担い手・経営支援グループ)



坪野樹 (畜産) / 課長代理 丸山一成 (作物) / 佐藤匠 (果樹) /
小川妙 (畜産) / 笹川珠未 職員

普及課 (上越北地区担当): 柿崎・大潟・頸城・吉川・三和



松浦佑亮 (作物) / 課長代理 山澤秀紀 (作物) /
神林勤 (作物) / 大田康平 (野菜)

普及課 (上越南地区担当): 合併前上越・中郷・板倉・清里・名立



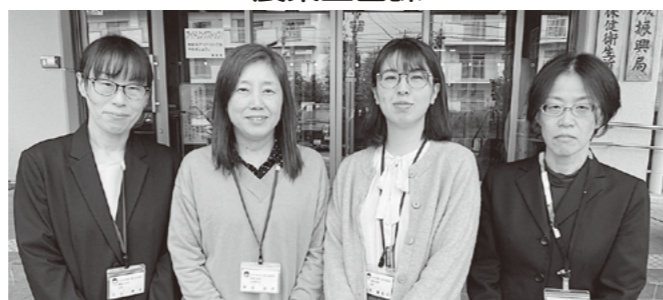
池田明莉 (野菜) / 課長代理 星野裕子 (6次産業化 (加工)) /
大峽広智 (作物) / 渡邊なほ (野菜) / 中川海 (作物)

普及課 (妙高地区担当): 妙高市



早津美和 (6次産業化 (加工)) / 課長代理 和田茂 (花き) /
山本賢一郎 (作物)

農業企画課



石山美佳 / 企画専門員 岸田涼子 / 岩野舞衣子 / 白木美恵子

生産振興課



竹内健斗 / 課長代理 福嶋朗山 / 水野ひより / 土田優斗

上越東農林事務所: 安塚・浦川原・大島・牧



中條京子 職員 / 田中文浩 (作物) /
課長代理 加藤武司 (作物) / 佐藤英美 (野菜)

退職・転出者 お世話になりました

小根沢元浩 農林水産部農産園芸課へ
小林 昭文 退職
吉楽 雄治 十日町地域振興局農業振興部へ
本間 信弘 新潟地域振興局農林振興部(津川分室)へ
高橋 弘幸 十日町地域振興局農業振興部へ
萩原 修 新潟地域振興局農林振興部へ

佐藤 康志 村上地域振興局農林振興部へ
串橋 直 糸魚川地域振興局農林振興部へ
朝妻 英治 農林水産部経営普及課へ
大島 一基 農業総合研究所中山間地域農業研究センターへ
笹原 光平 三条地域振興局農業振興部へ
松本 圭介 農業総合研究所作物研究センターへ

上越農業普及指導センターだより

No.80
令和7年5月

●上越地域振興局農林振興部 (上越農業普及指導センター)

〒943-8551 上越市本城町5-6
TEL 025(526)9407 FAX 025(526)4080
HP <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/jouetu-fukyuyusennta/>



●上越東農林事務所

〒942-0411 上越市安塚区安塚720-1
TEL 025(592)3847 FAX 025(592)3591
HP https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jouetsu_norin/jhn-fukyuka-top.html



ホームページで旬の技術情報などを発信していますのでご覧ください

地域でがんばる若手農業者を紹介します ～移住、新規就農～

ふるいわ いっき
上越市谷浜・桑取地区 古岩 樹さん



千葉県出身の古岩樹さんは、令和3年に谷浜・桑取地区に移住しました。3年間の研修期間を経たのち経営継承・独立し、現在は水稲3.8haと園芸6aの栽培に取り組んでいます。

自然が大好きな古岩さんは、専門学校時代に鳥獣被害の現場を目にし、人と自然の境界を守る農家兼狩猟者になりたいと思い、狩猟免許を取得しました。そしてインターンシップで訪れた上越の中山間地域に魅力を感じ、移住を決意しました。

中山間地域での農業を経営する上で、作業の省力・効率化や販路開拓が課題であると考えた古岩さんは、昨年、ドローンでの水稲直播栽培や個人販売の拡大に取り組みました。

さらに本取組を、2月に開催された青年農業者意見発表会で発表し、見事最優秀賞を受賞しました。今年11月に福井県で開催される北陸ブロック農業青年会議において、新潟県代表として発表を行います。

また、地域の活動にも意欲的に取り組んでいます。昨年度、上越地域の4日クラブ「ひかり」の副会長を務め、サマーフェスティバルへの出場や、会員と共にほ場巡回視察研修を開催する等、活動の企画運営に積極的に携わっています。

さらに令和4年度からは上越市の鳥獣被害対策実施隊員となり、猟友会の先輩と共に活動に従事しています。

「これからも、人と人とのつながりに感謝して、地域の頼れる後継者になっていきたいです。」と抱負を語っています。

ごあいさつ

上越農業普及指導センター所長 安藤 義昭



日頃、上越農業普及指導センターの活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。令和7年度は重点課題として、

- ①地域計画に位置付けられた担い手を中心とした持続可能な農業・農村の仕組みづくり
- ②中山間地域における持続可能な農業・農村の仕組みづくり
- ③魅力ある農業経営体の育成

を位置付け、農地集約化や超省力栽培の導入・拡大、法人の再編や就業環境整備などに重点的に取り組むほか、地域の様々な課題の解決に向け、関係機関・団体と連携して取組を進めてまいります。

今年度も職員一同、どうぞよろしくお願いたします。

普及指導センターの令和7年度の重点活動を紹介します

1 就農から定着まで一貫した支援による担い手の確保育成支援

【担い手・経営支援グループ】

現在、上越地域では就農希望者に対する長期の研修制度は少ないため、研修期間中に栽培技術を十分に習得できない場合があります。

そこで、地域における農業研修生の長期受入体制の整備を支援することで、新規就農・就業者の確保を目指します。

また、関係機関・団体と連携し、新規就農者や法人就業者への巡回を通じた相談活動などを実施して、地域・法人への定着を支援します。



【法人就業者へのフォローアップ巡回の様子】

2 農業法人等の経営体質強化

農事組合法人における組織再編や法人従業員の定着に向けた就業環境整備、大規模法人における超省力・低コスト栽培技術の導入による収益性の改善など、管内の農業法人がそれぞれ抱える経営課題の解決に向けて支援します。

3 地域農業を支える農業法人を中心とした力強い農業構造の確立支援

【地域農業推進グループ上越南
(合併前上越・中郷・板倉・清里・名立)】

上越南地区では、経営面積が200haを超える大規模法人を中心に、農地集積が急速に進む一方、農地の集約化が課題になっています。

また、農事組合法人の解散が増加し、地域農業の後継者問題が重要な局面を迎えています。

このため、担い手への農地の集約化、農事組合法人の後継者や従業員の確保等、営農の継続のため組織再編を関係機関・団体と一体となり支援します。



【上越南地域農業対策検討会のメンバー】

4 農業法人の課題解決に向けた支援

【地域農業推進グループ上越北
(柿崎・大潟・頸城・吉川・三和)】

上越北地区では、担い手への農地集積が進み、水稻の春作業の長期化が課題となっています。

このため、作業の省力化やコスト低減が可能となる、不耕起V溝直はの栽培技術の習得を支援していきます。

また、営農継続に向け、人材確保等を図るための就業規則等の整備、農事組合法人の組織再編を関係機関・団体と一体となり支援します。



【不耕起V溝直はの播種作業の様子】

5 生産組織等の経営体質強化支援

【地域農業推進グループ妙高(妙高市)】

妙高市原通地区では、農業法人、生産組織、認定農業者の方たちが耕作の中心を担っています。

農業従事者の高齢化が問題となっていますが、原通地区の担い手である経営体が持続的に経営発展していけるよう、後継者の確保・育成と経営体質強化について、関係機関・団体と連携して支援します。



【地区の担い手である農業法人、生産組織等への支援】

6 中山間地域農業の維持・振興に関する将来プランの実践支援

【上越東農林事務所普及課(安塚・浦川原・大島・牧)】

上越東地区は中山間地域であり、豊かな自然、美しい景観、多彩な農産物など地域資源に恵まれている一方、高齢化・人口減少の急速な進展が問題となっています。

上越市牧区では、地域活性化に向けた将来プランを策定し、そのプランの実践の主力となる活動主体「まきにいる」が設立され、活動を続けています。関係機関・団体と連携した「まきにいる」の活動支援を通じて、将来プランの実践による地域・農業の活性化の取組を支援します。



【農業体験受入れの感触をつかむための「まきにいる」田の共同管理(稲刈り)の様子】